

令和4年12月14日

大会関係者 各位

第31回河北新報杯争奪全国高等学校空手道選手権大会  
実行委員会

第31回河北新報杯争奪全国高等学校空手道選手権大会  
新型コロナウイルス感染防止及び体育館の注意事項（第2版）

本注意事項は各県（公財）日本スポーツ協会及び（公財）全日本空手道連盟のガイドラインに沿って作成いたしました。また、全国高等学校体育連盟空手道専門部及び宮城県高等学校体育連盟空手道専門部及び（公財）仙台市スポーツ振興事業団による新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえたものです。

1. 【様式1】健康チェックシートと【様式2】健康チェックシート提出用紙の提出

大会会場に入場する全ての方を対象に実施します。【様式1】に大会前2週間から大会期間中（12月27日）まで、体温の測定と記録を付けてください。大会当日受付にて、各校顧問が【様式2】（様式2は毎日提出）を事務局へ提出ください。

【様式1】は、後に入場者の中に感染者がいた場合、入場されていた方にいち早く連絡を取り、その後の処置を適切に行うために用いられます。個人情報の取扱いについて細心の注意を払うとともに、大会終了の一か月後には完全に処分いたします。ご理解ください。

2. 大会会場に入場できる者

原則として大会会場には、大会役員・競技役員・審判員・登録選手、参加校顧問・監督（申込時に申請があった者）・コーチ2名（校長が認めた者）・その他主催者が認めた者のみが入場できます。会場に入場する際は、【様式2】を提出すること。

参加校顧問（申込時に申請があった者）・コーチ2名（校長が認めた者）には受付時にIDカードを配布する。参加校顧問とコーチ2名はIDカードを身に付け、体育館の入退場をすること。

3. 感染防止対策

感染防止対策として、次のことに留意してください。

（1）マスクの着用（試合時を除く）

選手以外は、試合中も原則マスクを着用してください。

（2）手洗い。手指の消毒徹底

①こまめに手洗いと消毒を行ってください。

手指消毒液の設置場所は本部・受付・アリーナ入り口・観客席入り口にそれぞれ設置するのでその都度、手指消毒を行うこと。

(3) ソーシャルディスタンスの確保

座席・練習会場・トイレなど密接を避けること。

(4) その他

主催者が感染防止のために決定した措置に従ってください。

4. 大会参加の判断基準について

大会への参加の判断は概ね以下の基準とする。

(1) 学校休業によるもの

	状 況	判 断
1	学校関係者の感染が確認され、学校が臨時休業になった場合。	当該校は、休業期間中、原則大会に参加できない。
2	学校関係者の感染が確認され、学校の一部(学年、学級など)が臨時休業になった場合。	当該校の休業対象生徒及び職員は、休業期間中、原則大会に参加できない。

(2) 個人の状況によるもの

	状 況	判 断
1	新型コロナウイルスの陽性者になった場合	・当該生徒等は、入院やホテル療養、自宅待機等の行動制限を課されている期間、大会に参加できない。 ・所属校や所属チーム内で感染の拡大が疑われる場合、所属校または所属チームは大会に参加できない。
2	新型コロナウイルスの濃厚接触者になった場合。	・当該生徒等は、入院やホテル療養、自宅待機等の行動制限を課されている期間、大会に参加できない。
3	新型コロナウイルスの検査対象者になった場合。	・当該生徒等は、検査結果が判明するまで、大会に参加できない。 ただし、検査結果が陰性であり、行動制限を伴わない場合は、大会に参加できる。
4	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。	・当該生徒は、検査結果または医療機関による診断結果が判明するまで、大会に参加できない。 ただし、検査結果が陰性であり、行動制限を伴わない場合、または医療機関からの許可があった場合、大会に参加できる。
5	大会2週間前から当日までの間に、発熱や風邪症状、味覚異常等がみられた場合。	
6	大会2週間前から当日までの間に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。	

## 【参考】

- ・陽性者のうち症状のある者は、発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快から72時間経過した場合に退院可能。
- ・陽性者のうち無症状の者は、検体採取日から10日間経過した場合、退院可能。
- ・濃厚接触者は、14日間の健康観察期間が必要。

### (3) 空手道専門部コロナウイルス感染症にかかる救済措置について

救済措置が行えない場合	・本人（チーム）が陽性、濃厚接触、検査対象となった場合。
救済措置が行える場合	・学校関係者の感染が確認され、学校の全部または一部（キャンパス、学年、学級）が臨時休業になった場合も原則として休業期間中は大会に参加できない。ただし、感染の可能性がない、または検査結果が陰性であり、行動制限を伴わない場合は、専門家の意見を聞きながら十分に審議（所属長・県教委・県高体連）し、出場の可否を判断する。

## 5. 報告義務

大会会場に入場した者は、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会実行委員会（宮城県高等学校体育連盟空手道専門部）へ速やかに報告してください。

## 6. 大会中止の判断

県内で再び感染が拡大するなど、全競技を一斉に中止する等の判断が必要な場合については、県事務局と県教育委員会で協議し、決定された場合。

上記以外の専門部としての判断（専門部内の休校数や、クラスター等）は、専門部長及び県事務局と協議する。

※「まん延防止措置」延長の場合については、別途協議する。

その際、大会参加料の返金は原則としておこないませんが、時期によって執行した予算を除く額を可能な限り返金することとなります。全額返金とはならない場合があることをご理解ください。

## 7. 競技前の注意事項

従来とは異なります。選手の皆さんは次のことに注意してください。

### (1) 組手

入場時はマスクを着用してください。原則としてメンホーの内側に専用の口元シールドの着用を義務付けます。競技中の気合発声は可とします。

試合中、シールドが取れた場合、試合を一旦停止し、ソーシャルディスタンスを保ちながら再着用して試合を再開してください。

### (3) その他

安全具や帯の共有は認めない。

## 8. 禁止事項

次の行為は、感染防止の観点から行わないようにしてください。

- (1) 握手・ハグ・ハイタッチ・円陣・選手同士の声を出しての応援・アドバイス
- (2) 飲物・食べ物の回し飲み等
- (3) 贈り物の授受・お出迎えやお見送り

## 9. 体育館内の感染予防対策

- (1) 入館前、外で並ぶ場合、他者との間隔を空け密にならないようにしてください。  
係の指示に従い、学校毎に間隔を空け整列してください。入館時、係の指示に従い、他者との間隔を空けて、慌てず入館してください。
- (2) 観客席は指定された場所を使用すること。選手同士距離を取って座ること。使用後は着席した席を備え付けの消毒液を使用して消毒すること。消毒がされているか引率顧問が確認すること。
- (3) 食事について（黙食とする）
  - ①選手  
各校選手同士距離を取って座り、対面にならずにアリーナ側を向いて食べること。
  - ②引率教員  
会議室で食事をする場合は、必ず窓を開けて換気をし、対面にならずに食べること。
- (4) コート内へ入場できるものは、登録選手・監督・コーチ・審判団・記録係とする。
- (5) 更衣室の使用について  
更衣室を使用してもよいが、使用する際は密集を避け、一度に5名ずつ入れ替えで使用する。使用後の消毒作業は使用したものがその都度消毒すること。
- (6) アリーナ内の換気について  
競技中と競技終了後、適に換気の時間を設ける。2箇所のアリーナ出入口ドアを開放する。
- (7) 応援について  
アリーナ内での応援は禁止とする。応援は観客席で行い声を出さず拍手のみとする。  
観客席の消毒については、9（2）を参照すること。

## 10. 体育館の使用について

- (1) 12月27日（日）～29日（火）の大型バス、マイクロバスの駐車については体育館側の指示で8台（先着順）まで駐車することができる。8台に達した場合はバスの駐車をお断りします。バスの駐車については宿泊するホテルに駐車させるなど参加校で手配すること。
- (2) アリーナ以外は外履きで移動すること。
- (3) トイレを利用する際は、手拭き用ペーパータオルを準備するので手についた水を外へ飛ばすような動作はしないでください。使用後は備え付けのゴミ袋へ捨ててください。
- (5) 大会期間中に出たゴミは各校ですべて持ち帰ってください。体育館内に備え付けてあるゴミ箱は使用しないでください。
- (6) 貴重品は個人で管理するか、引率顧問に預けるなどして、人のいないところには置かないようにしてください。